

「小児・AYA世代のがん医療・支援のあり方に関する検討会」開催要綱

1. 趣旨

がんは、小児、AYA（Adolescent and Young Adult, 思春期及び若年成人）世代の病気による主な死因の1つであり、多様ながん種が含まれる。このため、第3期がん対策推進基本計画では、小児・AYA世代のがんは、成長発達の過程においても、乳幼児期から活動性の高い若年成人期に至る成長に伴って特徴も変化していくライフステージで発症することから、成人のがんを基本としつつ、特徴に応じた対策が求められている。

本検討会では、小児・AYA世代のがん患者とその家族が安心して適切な医療や支援を受けられるような環境の整備を目指し、小児がん拠点病院のあり方や、がん診療連携拠点病院等との連携を含めた医療や支援のあり方と具体策について検討する。

2. 検討事項

- (1) 小児・AYA世代のがん医療・支援のあり方について
- (2) 小児がん拠点病院のあり方について
- (3) がん診療連携拠点病院等との連携について

3. その他

- (1) 本検討会は厚生労働省健康局長が別紙の構成員の参集を求めて開催する。
- (2) 本検討会には、構成員の互選により座長をおき、検討会を統括する。
- (3) 本検討会には、必要に応じ、別紙構成員以外の有識者等の参集を依頼することができるものとする。
- (4) 本検討会は、原則として公開とする。
- (5) 本検討会の庶務は、厚生労働省健康局がん・疾病対策課が行う。
- (6) この要綱に定めるもののほか、本検討会の開催に必要な事項は、座長が健康局長と協議の上、定める。

小児・AYA世代のがん医療・支援のあり方に関する検討会構成員名簿

石田 智美	聖路加国際病院こども医療支援室 チャイルド・ライフ・スペシャリスト
小俣 智子	武蔵野大学人間科学部社会福祉学科 准教授
上別府 圭子	東京大学大学院医学系研究科 家族看護学分野 教授
笹井 敬子	東京都福祉保健局 技監
越永 従道	日本大学医学部外科学系 小児外科学分野 教授
西川 亮	埼玉医科大学国際医療センター脳脊髄腫瘍科 教授
檜山 英三	国立大学法人広島大学自然科学研究支援開発センター 教授
○堀部 敬三	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター長
松本 公一	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 小児がんセンター長
道永 麻里	公益社団法人日本医師会 常任理事
山下 公輔	公益財団法人がんの子どもを守る会 理事長
○…座長	

(五十音順・敬称略)